

水泳学習

広州にも蒸し暑い季節がやってきました。広州日本人学校では、毎年この時期の6月から9月の間に水泳学習を行っています。本校には室内に25メートルプールがあり、子どもたちは天候に左右されず、週に2回泳ぐことができます。

水泳学習が始まる前には、教員間で水泳学習の研修会を行い、その中で、緊急時の対応や心肺蘇生などの救急措置の方法、それぞれの学年での学習の進め方などを共有し、子どもたちが安全に楽しく水泳学習が行えるよう、指導方法を学びあいます。

実際の授業の際には、水中に入り指導する教員と、プールの上から非常事態に備えて監視する陸視と呼ばれる役割の教員に分担し、溺れている児童生徒を見つけた場合や緊急事態の場合には、笛を大きく鳴らすことで全員の児童生徒に知らせ、プールサイドに上がることを徹底しています。また、二人一組のバディー制度を基本に、ペアの友だちの様子を互に見合うことで、自分たちで自分たちの命を守ることを意識するように指導しています。

本校では、小学1年生から中学3年生まで、水泳の学習目標として、以下のような到達基準を設けています。

1年	<ul style="list-style-type: none"> ・ふし浮き・バブリング ・正しい蹴伸びの姿勢をとってバタ足 ・ビート板バタ足（面かぶりで息継ぎ）
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・ビート板バタ足（面かぶりで息継ぎ） ・ももタッチクロール息継ぎなし 10mくらい
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・ももタッチクロール25m 息つきはしっかりと横向きで ・平泳ぎの足（カエル足）
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・ももタッチクロール25m～ 息つきはしっかりと横向きで ・平泳ぎの手の動き→手足のコンビネーション
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・S字を意識した手の動き（クロール） ・あおり足にならない平泳ぎ ・長い距離（50m～）
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・スピードを意識したクロール、長い距離を泳ぐ平泳ぎ（抵抗の少ない姿勢、水のとらえ方、息つき）
中学部	クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ、4泳法 （手と足、呼吸のバランスを保ち、正しいフォームで長く、早く泳ぐ）

泳力別に班分けを行い、体力向上も含め安全対策を心掛け、今年度も充実した水泳学習になるよう、教員一同努めて参ります。

